



# シカ激害地の妖しい輝き —オオセンチコガネ—

津軽白神森林生態系保全センター 専門官 有本 実

近年急速に分布を拡大させ、何かと世間を騒がせているニホンジカ（以下シカ）ですが、今回ご紹介するのはシカが高密度で生息している所でまず見つかる、オオセンチコガネです。『まず見つかる』というのも、このコガネムシは鮮やかな金属光沢を放って林内を低空飛行するので、目につきやすいのです。

地面をなめる様に飛びながら目指す先は、シカの糞です①。本種はフンコロガシの仲間、いわゆる糞虫で、動物の糞を食べて生活しています。和名を漢字で表すと『大雪隠黄金』。雪隠（せっちん）とは便所の事で、食糞性の生態を表

現しているのですが、名前とは裏腹にコガネムシ界きっての美麗種で、しかも地域によって色彩が大きく異なる点が虫屋の心をくすぐります。昆虫好きの人なら、①は東北地方で撮影したものではないことにお気づきでしょう。

最もメジャーなのは赤い個体で、ここ東北では大体が②の様な体色です。これが紀伊半島と屋久島では青色（③：通称ルリセンチコガネ、屋久島産は亜種ヤクルリセンチコガネ。①も奈良県産です。）に、北海道の一部と近畿地方の一部では緑色（④：通称ミドリセンチコガネ）に輝きます。シカの被害が深刻な世界遺産地域に着目すれば、知床は緑色、紀伊山地の霊場と参詣道は青色、厳島神社のある宮島は赤色、屋久島はコバルトブルーと何とも色彩豊かです。

ここ数年来シカの確認事例が増加している白神山地周辺は赤色ですが、私は昨年当センターに着任して以来、今のところ1度見たのみです。いくら綺麗だからといって、白神山地周辺であまりに頻繁に目につくようになる事態は、どうやら歓迎すべきではなさそうです…



①シカ糞に集まるオオセンチコガネ



②岩手県産



③奈良県産



④京都府産